

碑文

聯隊は昭和十三年五月京都伏見で編成され直ちに大陸に渡り 池州 安慶 常德 湘桂 宝慶 湘西等の作戦に参加し昭和二十一年七月帰還編成を解かれる迄よく困難を克服し師団砲兵の責務を遂行した この間武運拙なくして大陸に散華した幾多の友の鎮魂の為戦後三十年茲に生存者相計り護国の礎となられた英霊の勲功と聯隊の遺業を後世に留める為一基を建立し 併せて悠久の平和を祈念するものである
願わくば在天の英霊安らかに鎮り給え

昭和五十年三月九日

元野砲兵第二百二十二聯隊戦友一同